

平成 26 年 10 月 17 日
農林水産省国際部

安倍総理ブラジル訪問の結果概要及び 日伯農業・食料対話への参加要請について

1. 安倍総理のブラジル訪問の概要

(1) 日伯首脳会談

中南米を訪問された安倍総理は、8月1日(金)に、ブラジルにおいて、ルセーフ・ブラジル大統領と会談し、日ブラジルの間で戦略的グローバルパートナーシップを更なる高みに引き上げることや、ブラジルにおける穀物輸送問題の改善が両国にとって戦略的に意義があること等を確認されました。

(2) 同行企業等による農務大臣表敬

同日、安倍総理のブラジル訪問に同行した食関連企業等がゲレル・ブラジル農務大臣を表敬して、穀物事業を含む各社のブラジル等における取組やブラジルに対する期待等について意見交換を行いました。日本側からは、双日、三井住友ファイナンスグループ、日本貿易保険、全日本コーヒー協会、井村屋、三菱商事、三井物産、丸紅及びクボタの9社が、ブラジル側からは、植物油加工業連盟、食肉連盟、大豆・トウモロコシ生産者連盟、コーヒー輸出協議会等が参加しました。

ゲレル・ブラジル農務大臣より、食料生産を更に増大させるために制度や物流が重要であること、日本の協力によるセラード開発に言及しつつ、日本企業による進出に期待していること等の発言がありました。これに対し、日本側からは、両国間のグローバルパートナーシップの深化を踏まえて両国の農業関係ビジネスも高い次元に発展させていくことが重要であること、民間企業の活力を活かす形でブラジルと今後に対話を継続していくことが重要であること等を発言し、ゲレル農務大臣も同意されました。

2. 日伯農業・食料対話開催のご案内

このブラジル農務大臣表敬を受けて、両国で調整した結果、我が国の農業・食品関係企業のブラジル進出や同国の穀物輸送インフラ改善等を通じた、ブラジルにおけるフードバリューチェーンの構築を目的とし、両国の民間企業等の参加を得て、本年12月8日(月)に、ブラジル・サンパウロにおいて、日伯農業・食料対話を

行うことで調整中です。

ブラジル側はゲレル農務大臣、我が国からは、当省の政務の参加に向けて調整しております。本対話には、ブラジルに関心を有する我が国民間企業の幹部(原則として、日本本社の役員クラス(担当部長以上を想定)もしくは現地法人の長)の方にもご参加いただき、各社からブラジルに対する関心やビジネスを行う上での課題等について、ブラジル側参加企業や政府関係者との意見交換を行っていただきたいと考えております。参加を希望される民間企業等におかれましては、ご参加いただける方の氏名・役職(日英)を10月31日(金)までに、下記お問い合わせ先両名まで、ご連絡いただけるようお願いいたします。

なお、本対話は、本年12月8日(月)にブラジル・サンパウロにおいて終日予定しており、同日夕刻には、レセプション、翌9日、10日には、希望者による現地視察を予定しております。視察先は、希望を募った上で調整いたしますので、参加を希望される場合には本対話への参加のご連絡と併せて、希望視察先、視察内容についてもご連絡いただけるようお願いいたします。(先方政府機関との調整の結果、ご希望に添えない場合がありますので予めご了承ください。)

(留意事項)

本会合に、ご参加いただける民間企業等の皆様には、サンパウロにおいて現地集合・現地解散、ビザ取得等の諸手続、必要経費の負担は皆様で行っていただくこととなります点につきご留意願います。

参加を希望される民間企業等におかれましては、ブラジルに対する関心事項や今後の事業展開方向性(貴社にとってのブラジルの位置づけ、投資に関連する事項(投資分野、投資地域、ターゲットとする市場(日本、世界、ブラジル国内市場等))等のご発言予定の内容につきまして順次お問い合わせさせて頂く予定です。

その他、ご不明な点等がありましたら、下記担当者までお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ先>

大臣官房国際部国際協力課

担当者:安原、佐藤

代表:03-3502-8111(内線 3512)

ダイヤルイン:03-3501-5914

E-mail:gfvf_maff@nm.maff.go.jp